

## 2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月1日

上場会社名 株式会社Cominix 上場取引所 東  
 コード番号 3173 URL https://www.cominix.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)柳川 重昌  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)林 祐介 (TEL)06(6765)8201  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	14,909	△15.4	△64	—	△34	—	9	△97.1
2020年3月期第3四半期	17,617	△7.5	540	△34.2	506	△36.3	324	△29.5

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 14百万円(△94.1%) 2020年3月期第3四半期 239百万円(△38.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	1.37	—
2020年3月期第3四半期	47.29	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	18,083	5,516	30.1
2020年3月期	15,489	5,555	35.6

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 5,434百万円 2020年3月期 5,519百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	11.00	—	10.00	21.00
2021年3月期	—	6.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
通期	20,500	△12.1	10	△98.5	36	△94.3	34	△90.5	—	4.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2021年3月期3Q	6,868,840株	2020年3月期	6,868,840株
2021年3月期3Q	335株	2020年3月期	335株
2021年3月期3Q	6,868,505株	2020年3月期3Q	6,868,505株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2020年4月1日～2020年12月31日）における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大の長期化に伴い多くの社会経済活動において制約を受けるなかで、政府の段階的な経済活動の活性化政策等により緩やかに回復基調で推移しております。

世界経済についても、各国の経済活動は大幅に縮小しましたが、直近では中国経済の急回復や世界的金融緩和等による株高等の影響により、景気は徐々に回復してきておりますが、新型コロナウイルス感染症の再拡大懸念の広がりにより、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループはこのような厳しい経営環境下において、引き続き顧客に応じたWEBミーティングを実施する等、ウィズコロナのニューノーマルへ対応した営業スタイルの構築に努めました。

成長戦略としては、関東・九州エリアでの業容拡大を目的とした株式会社東新商会・株式会社澤永商店の子会社化をはじめとして、2020年12月には、日本・北米に優良な取引先を持つ株式会社川野辺製作所を子会社化いたしました。本資本提携に伴い、同社と当社グループの強みである販売力・豊富な商品ラインナップのシナジー効果や切削工具事業の製造分野における事業領域拡大・拡充を見込んでおります。また、新規事業として、事業環境変化への対応や新たな顧客層の獲得を目的に、2020年10月に切削工具専門ECサイト「さくさく」を立ち上げており、集客増加を目的とした各種施策を実施いたしました。これらの事業基盤の強化・拡大施策に加え、テレワークの活用や各種固定費の削減等による経営のスリム化も推進しましたが、厳しい事業環境を背景に業績は低調に推移しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は14,909,984千円（前年同四半期比15.4%減）、営業損失は64,335千円（前年同四半期は営業利益540,278千円）、経常損失は34,442千円（前年同四半期は経常利益506,933千円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は9,396千円（前年同四半期比97.1%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

#### 切削工具事業

切削工具事業につきましては、自動車業界等において一部需要が持ち直す中、売上増及びWEB受注率アップを目的としたCominix Online キャンペーンをはじめとしてWEB会議システム等の積極的な活用により営業活動の維持・向上に努めましたが上半期における市場環境低迷に伴う販売減を補完するに至らず売上高及びセグメント利益は低調に推移いたしました。

この結果、売上高は9,437,770千円（前年同四半期比15.8%減）、セグメント損失は205,304千円（前年同四半期は281,940千円のセグメント利益）となりました。

#### 耐摩工具事業

耐摩工具事業につきましては、製缶業界において、新型コロナウイルス感染拡大による外出自粛に伴うアルコール飲料用のアルミ缶等の生産需要が増加し、主要取引先を中心として当社の受注も堅調に推移いたしました。その他、製袋・電池・破砕刃等の業界へも積極的に展開した結果、売上高及びセグメント利益は堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は1,918,745千円（前年同四半期比1.6%増）、セグメント利益は201,415千円（前年同四半期比23.1%増）となりました。

## 海外事業

海外事業につきましては、当社の主要進出国である中国における経済対策や外需回復による景気下支えにより業績が回復傾向にあるものの、上半期における新型コロナウイルスの影響に伴う各国の市場低迷による売上減を補完することができず売上高及びセグメント利益は低調に推移いたしました。

この結果、売上高は2,701,005千円（前年同四半期比25.8%減）、セグメント損失は127,099千円（前年同四半期は42,835千円のセグメント利益）となりました。

## 光製品事業

光製品事業につきましては、新型コロナウイルスの影響により、イベント関連をはじめとした一部案件の進捗・納品の遅延等が発生しましたが、顧客に応じたWEBミーティングや粗利率改善への取り組みを進めた結果、売上高及びセグメント利益は堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は852,463千円（前年同四半期比2.7%減）、セグメント利益は64,093千円（前年同四半期比17.3%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (総資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて1,180,242千円増加し、13,641,355千円となりました。これは主に、現金及び預金が802,654千円、たな卸資産が350,955千円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1,413,786千円増加し、4,442,064千円となりました。これは主に、土地が333,625千円、建物及び構築物（純額）が136,762千円、のれんが242,495千円増加したことなどによります。

うち、株式会社東新商会のM&Aによる影響額（増加）は、現金及び預金107,905千円、受取手形及び売掛金329,573千円、たな卸資産549,691千円、建物及び構築物（純額）37,243千円、土地230,201千円、のれん249,615千円であります。また、株式会社川野辺製作所のM&Aによる影響額（増加）は、現金及び預金472,023千円、受取手形及び売掛金50,862千円、たな卸資産50,071千円、建物及び構築物（純額）85,838千円、土地34,723千円であります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて2,594,029千円増加し、18,083,419千円となりました。

### (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて887,666千円増加し、8,574,786千円となりました。これは主に、短期借入金853,027千円、1年内返済予定の長期借入金366,873千円増加した一方で、支払手形及び買掛金が362,333千円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて1,744,672千円増加し、3,991,700千円となりました。これは、長期借入金1,301,819千円増加したことなどによります。

うち、株式会社東新商会のM&Aによる影響額（増加）は、支払手形及び買掛金188,072千円、短期借入金179,329千円、1年内返済予定の長期借入金17,196千円、長期借入金154,224千円であります。また、株式会社川野辺製作所のM&Aによる影響額（増加）は、支払手形及び買掛金40,630千円、短期借入金50,000千円、1年内返済予定の長期借入金120,294千円、未払法人税等142,375千円、長期借入金285,416千円であります。

この結果、負債は、前連結会計年度末に比べて2,632,338千円増加し、12,566,486千円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて38,309千円減少し、5,516,932千円となりました。これは、利益剰余金が100,499千円（親会社株主に帰属する四半期純利益による増加9,396千円、剰余金の配当による減少109,896千円）減少した一方で、非支配株主持分が46,367千円増加したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては2020年10月30日に公表いたしました数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,183,318	2,985,973
受取手形及び売掛金	4,852,463	4,889,878
たな卸資産	5,065,279	5,416,234
その他	400,432	392,256
貸倒引当金	△40,381	△42,987
流動資産合計	12,461,112	13,641,355
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	344,973	481,735
土地	959,104	1,292,730
その他(純額)	136,990	224,909
有形固定資産合計	1,441,067	1,999,375
無形固定資産		
のれん	111,413	353,909
その他	234,476	203,134
無形固定資産合計	345,890	557,043
投資その他の資産		
その他	1,255,926	1,923,285
貸倒引当金	△14,607	△37,640
投資その他の資産合計	1,241,319	1,885,645
固定資産合計	3,028,277	4,442,064
資産合計	15,489,390	18,083,419
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,512,546	4,150,212
短期借入金	1,908,676	2,761,704
1年内返済予定の長期借入金	665,208	1,032,081
未払法人税等	48,925	152,942
賞与引当金	165,560	51,438
役員賞与引当金	7,700	15,421
その他	378,503	410,986
流動負債合計	7,687,119	8,574,786
固定負債		
長期借入金	1,661,491	2,963,310
役員退職慰労引当金	233,462	295,930
退職給付に係る負債	311,184	404,251
その他	40,890	328,208
固定負債合計	2,247,028	3,991,700
負債合計	9,934,148	12,566,486

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	350,198	350,198
資本剰余金	330,198	330,198
利益剰余金	4,845,931	4,745,432
自己株式	△219	△219
株主資本合計	5,526,108	5,425,609
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△13,887	31,001
為替換算調整勘定	7,035	△22,030
その他の包括利益累計額合計	△6,851	8,970
非支配株主持分	35,984	82,352
純資産合計	5,555,241	5,516,932
負債純資産合計	15,489,390	18,083,419

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	17,617,062	14,909,984
売上原価	13,875,257	11,850,542
売上総利益	3,741,804	3,059,441
販売費及び一般管理費	3,201,526	3,123,776
営業利益又は営業損失(△)	540,278	△64,335
営業外収益		
受取利息	1,522	2,971
受取配当金	4,889	3,290
仕入割引	21,434	16,711
補助金収入	11,607	59,622
保険解約返戻金	338	12,159
その他	13,249	18,749
営業外収益合計	53,043	113,503
営業外費用		
支払利息	22,973	25,912
売上割引	32,480	27,741
為替差損	18,002	18,846
その他	12,932	11,110
営業外費用合計	86,388	83,610
経常利益又は経常損失(△)	506,933	△34,442
特別利益		
負ののれん発生益	—	174,359
特別利益合計	—	174,359
税金等調整前四半期純利益	506,933	139,917
法人税、住民税及び事業税	140,714	64,065
法人税等調整額	44,784	73,360
法人税等合計	185,498	137,426
四半期純利益	321,434	2,491
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,350	△6,905
親会社株主に帰属する四半期純利益	324,784	9,396

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	321,434	2,491
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,491	44,889
為替換算調整勘定	△74,850	△33,225
その他の包括利益合計	△82,342	11,663
四半期包括利益	239,091	14,155
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	242,718	25,219
非支配株主に係る四半期包括利益	△3,626	△11,064

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	切削工具事業	耐摩工具事業	海外事業	光製品事業			
売上高							
外部顧客への売上高	11,214,850	1,888,483	3,637,808	875,919	17,617,062	—	17,617,062
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	10,341	—	10,341	△10,341	—
計	11,214,850	1,888,483	3,648,149	875,919	17,627,404	△10,341	17,617,062
セグメント利益	281,940	163,585	42,835	54,652	543,013	△2,734	540,278

(注)1 セグメント利益の調整額△2,734千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	切削工具事業	耐摩工具事業	海外事業	光製品事業			
売上高							
外部顧客への売上高	9,437,770	1,918,745	2,701,005	852,463	14,909,984	—	14,909,984
セグメント間の内部 売上高又は振替高	135	—	8,034	—	8,170	△8,170	—
計	9,437,905	1,918,745	2,709,040	852,463	14,918,154	△8,170	14,909,984
セグメント利益 又は損失(△)	△205,304	201,415	△127,099	64,093	△66,894	2,559	△64,335

(注)1 セグメント利益又は損失の調整額2,559千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する事項

第2四半期連結会計期間において株式会社東新商会及び株式会社澤永商店を、第3四半期連結会計期間において株式会社川野辺製作所を連結の範囲に含めたことにより、前連結会計年度の末日に比べ、第3四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額が、「切削工具事業」において3,076,354千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

第2四半期連結会計期間において、株式会社東新商会及び株式会社澤永商店を連結の範囲に含めたことにより、「切削工具事業」におけるのれんが259,207千円増加しております。

(重要な負ののれん発生益)

当第3四半期連結会計期間において、株式会社川野辺製作所を連結の範囲に含めたことにより、負ののれんが発生しております。当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第3四半期連結累計期間において174,359千円であります。なお、負ののれん発生益は特別利益のため、上記セグメント利益には含まれておりません。